

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

# 石井かずみ県議会リポート



発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

多くの鎌ヶ谷市民の後押しで、県議会を政治活動の場とした石井一美県議は、早速、9月定例県議会で登壇し、一般質問を行いました。鎌ヶ谷市のインフラ整備に力を注ぐ石井県議は成田空港と東京外郭環状道路を結ぶ北千葉道路整備を取り上げ、市川一

## 北千葉道路市川—鎌ヶ谷間

### 事業化へ向け 県が環境調査

動植物や大気・騒音・振動



登壇し、初めての一般質問を行う石井一美県議

石井議員 首都圏では、東京外郭環状道路の千葉県区間が平成29年度開通を目指して工事が進められています。また圏央道の整備も着々と進んでおり、圏央道の大栄JCTから神崎IC間が供用開始される。

本県の環状道路としては、この北千葉道路は東京外郭環状道路と成田空港を結ぶ約43キロメートルの幹線道路で、東京・成田空港間の

整いつつあるわけだが、この2つの環状道路を結ぶ道路の整備も大変重要な課題として残っている。中でも、鎌ヶ谷市を通る北千葉道路の整備は喫緊の課題であると考えている。

この北千葉道路は東京外郭環状道路と成田空港を結ぶ約43キロメートルの幹線道路。本県北西部及び成田地域と首都圏を連絡する道

時間短縮や沿道の物流活動による経済の活性化に欠くことができない道路である。今こそ北千葉道路の未整備区間である鎌ヶ谷市から市川市間の9キロメートルをこれまで以上にスピードを持って、積極的に整備する必要があると思う。

そこでうかがうが、北千葉道路の市川—鎌ヶ谷間の計画の具体化に向け、県はこれまでどのような調査を行ってきたのか。

知事 国道464号北千葉道路は、外環道から鎌ヶ谷市や千葉ニュータウンを経由し、成田空港を最短で結ぶ幹線道路であり、沿線地域の交通渋滞の緩和や、災害時における緊急輸送道路としても大変重要な道路です。

市川—鎌ヶ谷間については、昭和44年に都市計画決定しておりますが、その後社会経済や周辺地域の状況も大きく変化していることから、県では、これまで計画の具體化に向け、沿道の交通状況の調査や、整備効果などの検討を行ってきましたところです。

さらに、一昨年からは、今後の環境アセスメントや都市計画の変更の手続きに必要となる環境調査を行っています。

#### 石井かずみ・PROFILE

##### ■略歴■

- 昭和19年 鎌ヶ谷市に生まれる
- 昭和38年 千葉工商高校卒業
- 同年 有限会社石井商店勤務
- 昭和62年 鎌ヶ谷市議会議員当選(7期)
- 平成9年 鎌ヶ谷市議会議長
- 平成27年 千葉県議会議員当選

##### ■現職■

- 千葉県議会 商工労働企業常任委員会委員
- 鎌ヶ谷市野球協会会长
- 社会福祉法人理事

##### 再質問

石井議員 今後、事業化に向けて、県は沿線自治体との協議をどう進めていくのか。

知事 市川—鎌ヶ谷間の事業化に向けては、沿線市の協力を得ながら、今後必要となる環境アセスメントや都市計画の変更の手続きを進めていく必要があります。

このため、県としては、引き続き、国、沿線市とともに構成される「北千葉道路連絡調整会議」を通じて、沿線市との連携を図りながら、計画の早期具体化に努めています。

●県政や鎌ヶ谷市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

**石井かずみ 県議事務所** TEL 047-443-4731 FAX 047-443-4731

# 国道464号栗野バイパス事業

## 着手15年、用地買収も進まず

石井議員 国道464号  
栗野バイパスについてうかが  
う。松戸市から鎌ヶ谷・千葉  
ニュータウンを経て成田市

に至る国道464号につい  
ては、鎌ヶ谷消防署前の県  
道船橋・我孫子線との交差  
点から東側が平成17年10  
月に4車線が接続された。

これにより通過交通は増  
加し、この道路を利用する  
多くの車両が県道船橋・我  
孫子線を利用し、鎌ヶ谷市  
内の生活道路に入り込み  
市内は慢性的な交通渋滞が  
発生しているとともに、生  
活道路沿線の住民は、こう  
した通過交通により、日常  
生活においても大きな支障

を来たしている。  
県では、こうした周辺  
道との混雑緩和を図るた  
め、県道船橋・我孫子線

の一部と、県道千葉・鎌ヶ  
谷・松戸線の一部を、国  
道464号に昇格させた

県事業として整備すること  
とした。  
全体延長1・7キロメー  
トルのこの栗野バイパスは平

成12年度から整備がスター  
トしたが、6年間手付かず  
の状態で、平成18年度によ  
うやく1工区の用地取得が  
始まった。

周辺住民によつては一日で  
も早いバイパスの開通を期  
待しているが、事業着手以  
来、15年が経過しようとし  
て、現在に至つても、1工  
区の用地買収が遅々として  
進んでいない状況が続いて  
いる。そこでうかがうが、國  
道464号栗野バイパスの  
進捗状況と今後の整備の見  
通しはどうか。

県土整備部長 県では鎌  
ヶ谷市街地の慢性的な交通  
混雑の緩和を図ることを目  
標として、整備する計画を立  
ており、現在は、用地買収を  
進め、現在の用地の取  
得を進めており、現在の用  
地取得の進捗状況は面積べ  
て32パーセントとなつ  
ております。

本事業には、用地境界等  
の課題がありますが、引き  
続き、鎌ヶ谷市の協力をい  
たゞきながら、課題の解決  
を図り、地元関係者の協力を  
を得て、事業の推進に努め  
てまいります。



議場の自席で再質問を行う石井一美県議

## 工区2分割に疑問

石井議員 1・7キロメー  
トルしかない区間を、な  
ぜ1工区と2工区に分けた  
のか、甚だ疑問。そこでう  
かがうが、国道464号栗

の優先的な処分を検討して  
います。

石井議員 東京  
10号線延伸新線が  
予定されていた用地につい  
ては鎌ヶ谷市のまちづくり

立地交差事業の現在の進捗  
状況と今後の見通しはどう  
か。

## 新京成線連続立体交差事業期間、費用見直し

石井議員 新京成線連続  
立体交差事業の現在の進捗  
状況と今後の見通しはどう  
か。

平成26年5月に全ての区  
間で仮線運行となり、現在、  
高架橋本体の工事を行つて  
いるところですが、用地確保  
に時間を要したことなどが  
明らかになっていて、事業期間や事業費の見  
直しが必要になつています。

このため、鎌ヶ谷市や新

京成電鉄と連携し、国と事  
業認可変更の協議を進めて  
まいります。引き続き、早  
期に高架への切替えができる  
よう事業の推進に努めて  
まいります。

この事業が終わらなければ  
まちづくりが完成しない。また、国、県、市が財  
政負担をしながら進めてい  
るので、費用負担の面か  
らも一日でも早い完成をし  
ていただきたいようにお願  
いします。

的とし、鎌ヶ谷市初富地先  
で国道464号栗野バイパ  
スとして1・7キロメート  
ルの整備を実施しています。  
このうち、県道船橋我孫子  
子線から鎌ヶ谷市道4号線  
までの0・8キロメートルを  
これまでの0・8キロメートル  
につけて、優先的に用地の取  
得を進めており、現在の用  
地取得の進捗状況は面積べ  
て32パーセントとなつ  
ております。

二工区についても、その  
必要性は十分認識している  
必要があります。

二工区についても、その  
必要性は十分認識している  
必要があります。

二工区として、優先的に整  
備を進め、事業効果を早期  
に発現させることとしてお  
ります。

栗野バイパスを進めていた  
二工区として、優先的に整  
備について検討してまいり  
ます。

石井議員 成田側

## 幻の東京10号線延伸新線 取得用地の有効利用を

石井議員 本八幡から新  
鎌ヶ谷駅を結ぶ、千葉二ユ  
ニタウンのもう一つの鉄道ル  
ートとして計画されていた「旧

千葉県営鉄道北千葉線」で  
ある「東京10号線延伸新線」  
の計画が、平成25年9月に  
断念された。人口増加が期  
待できないことや、多額の事  
業費がかかることから、事

務にあたつては、市へ

示した土地については、

この土地は、鉄道用地と  
しての利用がなくなつたこ  
とから、現在処分を進めて  
います。ですが、未処分地につ  
いては、企業庁の後継組織が  
引き継ぐことになります。

なあ、処分にあたつては、  
土地元市が公共活用の意向を

示す。新鎌ヶ谷駅周辺に企  
業庁が保有する新鎌ヶ谷駅周  
辺では、土地地区画整理事業  
が行われ、平成25年に完了

している。この区画整理の真  
ん中に約1・1ヘクタール  
の企業庁の土地が、東西に帶  
状に横たわっている。

そこでうかがうが、新鎌

の優先性の見通しが立たな  
いことが理由だと聞いてい  
る。

企業庁長 企業庁は、新  
鎌ヶ谷駅として本八幡・新鎌  
ヶ谷駅間で約4・4ヘクタ  
ールを取得し、その費用は  
約34億円でした。

处分方針はどうなつている  
のか。

石井議員 1・7キロメー  
トルしかない区間を、な  
ぜ1工区と2工区に分けた  
のか、甚だ疑問。そこでう  
かがうが、国道464号栗

の優先的な処分を検討して  
います。

石井議員 東京  
10号線延伸新線が  
予定されていた用地につい  
ては鎌ヶ谷市のまちづくり

## 新鎌ヶ谷駅周辺に1・1ヘクタール 市の意向踏まえ処分検討

石井議員 東京10号線  
延伸新線の終着点として計  
画されていた新鎌ヶ谷駅周  
辺では、土地地区画整理事業  
が行われ、平成25年に完了

している。この区画整理の真  
ん中に約1・1ヘクタール  
の企業庁の土地が、東西に帶  
状に横たわっている。

そこでうかがうが、新鎌  
ヶ谷駅周辺に企業庁が保有

する新鎌ヶ谷駅は3つの鉄道  
路線が乗り入れる交通の要  
衝であることから、駅周辺  
の土地処分については、今  
後、鎌ヶ谷市の意向を踏ま  
えながら、検討を進めてま